

1 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする. 点 O を中心とする円周上に反時計回りに並んだ 5 点 A, B, C, D, E があり, $\angle AOB, \angle BOC, \angle COD, \angle DOE$ はすべて θ に等しい. $\alpha = 2\pi - 4\theta$, $\vec{c} = \vec{OC}$, $t = \cos \theta$ とする.

(1) $\vec{OB} + \vec{OD}$ および $\vec{OA} + \vec{OE}$ を \vec{c} と t を用いて表せ.

(2) $\vec{OA} + \vec{OB} + \vec{OC} + \vec{OD} + \vec{OE} = \vec{0}$ が成り立つとき, α は θ に等しいことを示せ.

2 n は 2 以上の自然数とする. 1 つの袋と 1 つの箱がある. 袋には白玉 3 個と赤玉 2 個が入っており, 箱には何も入っていない. 次の操作を考える.

袋から玉を 1 個取り出し, 白玉なら袋に戻し, 赤玉なら箱に入れる.

この操作を n 回繰り返す. n 回目の操作の後, 箱に入っている赤玉の個数を X とする.

- (1) k を n 以下の自然数とする. k 回目の操作では赤玉を取り出し k 回目以外の $n - 1$ 回の操作では白玉を取り出す確率を n と k を用いて表せ. 次に, $X = 1$ である確率 p_n を求めよ.
- (2) $X = 2$ である確率 q_n を求めよ.
- (3) X の期待値 E_n を求めよ. また, 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \log(2 - E_n)$ を求めよ.

3 関数 $f(t) = 2(\cos t - \sin t)$, $g(t) = \cos t + \sin t$ を用いて媒介変数表示された, xy 平面上の曲線 $C: x = f(t), y = g(t)$ がある.
点 $A\left(\frac{3}{4}, \frac{3}{2}\right)$ から C 上の点 $P(f(t), g(t))$ までの距離 AP の 2 乗 AP^2 を $h(t)$ とおく.

(1) $\frac{d}{dt}h(t) = 0$ となる t の値を $0 \leq t \leq 2\pi$ の範囲ですべて求めよ.

(2) C は楕円であることを示せ.

(3) P が C 上を動くとき, AP を最小にする P の座標, および AP を最大にする P の座標を求めよ.

4 次の問いに答えよ.

(1) 不定積分 $\int \frac{1}{1+e^x} dx$ を求めよ.

(2) 実数 a に対して定積分 $\int_0^2 \left| \frac{1}{1+e^x} - \frac{1}{1+e^a} \right| dx$ の値を $S(a)$ とおく. a が $0 \leq a \leq 2$ の範囲を動くとき, $S(a)$ の最小値を求めよ.

2010年第4問

 数理
石井K

4 次の問いに答えよ。

(1) 不定積分 $\int \frac{1}{1+e^x} dx$ を求めよ。(2) 実数 a に対して定積分 $\int_0^2 \left| \frac{1}{1+e^x} - \frac{1}{1+e^a} \right| dx$ の値を $S(a)$ とおく。 a が $0 \leq a \leq 2$ の範囲を動くとき、 $S(a)$ の最小値を求めよ。

$$\begin{aligned}
 (1) \int \frac{1}{1+e^x} dx &= \int \frac{1+e^x - e^x}{1+e^x} dx \\
 &= \int \left(1 - \frac{e^x}{1+e^x} \right) dx \\
 &= \underline{x - \log(1+e^x) + C} \quad (C \text{ は積分定数}) //
 \end{aligned}$$

ポイント

$$\int \frac{f'(x)}{f(x)} dx = \log |f(x)| + C$$

 $1+e^x \geq 2 > 0$ より、ここでは絶対値の中身は正である。
(2) $\frac{1}{1+e^x}$ は単調減少の関数で、 $\frac{1}{1+e^x} = \frac{1}{1+e^a}$ となるのは、 $x=a$ のときであるから。

$$0 \leq x \leq a \text{ では、 } \frac{1}{1+e^x} - \frac{1}{1+e^a} \geq 0$$

$$x > a \text{ では、 } \frac{1}{1+e^x} - \frac{1}{1+e^a} < 0 \text{ となる。}$$

$$\begin{aligned}
 \text{よて、 } S(a) &= \int_0^a \left(\frac{1}{1+e^x} - \frac{1}{1+e^a} \right) dx + \int_a^2 \left(\frac{1}{1+e^a} - \frac{1}{1+e^x} \right) dx \\
 &= \left[x - \log(1+e^x) - \frac{x}{1+e^a} \right]_0^a + \left[\frac{x}{1+e^a} - x + \log(1+e^x) \right]_a^2 \\
 &= a - \log(1+e^a) - \frac{a}{1+e^a} + \log 2 + \frac{2}{1+e^a} - 2 + \log(1+e^2) - \frac{a}{1+e^a} + a - \log(1+e^a) \\
 &= \frac{2-2a}{1+e^a} - 2 \log(1+e^a) + \log(1+e^2) + 2a - 2 + \log 2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \therefore S'(a) &= \frac{-2(1+e^a) - (2-2a)e^a}{(1+e^a)^2} - \frac{2e^a}{1+e^a} + 2 \\
 &= \frac{2e^a(a-1)}{(1+e^a)^2}
 \end{aligned}$$

a	0	...	1	...	2
$S'(a)$		-	0	+	
$S(a)$		↓		↑	

$$S(1) = -2 \log(1+e) + \log(1+e^2) + \log 2 = \log \frac{2(1+e^2)}{(1+e)^2}$$

 \therefore 右の増減表より、 $S(a)$ の最小値は、

$$\underline{S(1) = \log \frac{2(1+e^2)}{(1+e)^2}} //$$